

【那珂市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（令和3年1月）等を踏まえ、那珂市では目指す学びの姿を「自らの未来を創造し、世界で活躍できる、なかっこの育成」とする。具体的には、1人1台端末・クラウドツールなどを活用し、児童生徒が自身の特性や理解度・進度に合わせて、いつでもどこでも学ぶことができ、一人ひとりの能力を十分に発揮できること、多様な学び且つ主体的・対話的で深い学びができることを目指す。

2. GIGA第1期の総括

那珂市は、『那珂市EdTechプラン』に基づき、1人1台端末の整備と校内通信ネットワークの構築を進めてきた。ICT支援員の助言による授業でのICT活用も進み、児童生徒間の意見交換や問題解決学習が実施されている。

また、不登校児童生徒への学習機会の確保として、校内フリースクールの設置や授業のオンライン配信も行っている。

一方で、教職員のICT指導力には、意識やスキル面で学校内または学校間で格差が見られる。

今後、1人1台端末の利活用をさらに促進するには、端末や通信環境の整備に加え、教職員のICT指導力向上が不可欠である。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末の利活用を進めていくにあたり、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していくと共に、1人1台端末の利活用方策として以下について検討していく。

(1) リーディングDXスクール事業の活用

リーディングDXスクール事業を活用し、実践事例や先進的な取組等の調査・視察に加え、市外の取組についても意見交換ができるよう取り組む。

(2) 教職員向け研修の実施

教職員向けにクラウドを活用した授業研修を実施し、共同編集や他者参照等の学びを実際に体験することで、個別最適な学び及び協働的な学びを授業で実践できるよう支援する。

(3) スタディ・ログを活用した個別最適な学びの支援

クラウドアプリやオンラインストレージを活用してスタディ・ログ（学習履歴、学習評価などデジタル化された学びの記録）を蓄積し、データ連携による系統的な個別最適な学び方の支援を図る。

(4) 学びの保障

端末の故障に備え、予備機の運用と迅速な修繕体制を確立し、1人1台端末環境を維持する。

また、WEB会議システムを活用したオンライン授業を継続的に実施し、時間や場所に制約されない学習環境を整備する。これにより、誰ひとり取り残されることなく、学びの機会を保障する。